

Guidewire-guided cannulationにおけるGuidewire先端柔軟長の差異による胆管挿管成功率を比較する多機関共同後方視的研究

1. 研究の対象

2022年8月1日から2023年12月6日までの期間に内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）時に、国立がん研究センター中央病院でガイドワイヤーを併用した胆管挿管法が試みられた方。

2. 研究目的・方法

研究目的：内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）は、胆管に病気がある患者さんに対する診断や治療において重要な手法です。実際には、内視鏡を使い、十二指腸乳頭部にカテーテルをあてがい、ガイドワイヤー（GW）を先行させて胆管内へアプローチし（胆管挿管）、種々の診断、治療を行います。GWの柔軟部で胆管を探り、アプローチを行うため、先端部の特性がガイドワイヤーを用いた胆管へのアプローチの成否や、偶発症に影響することが推測されます。しかし、用いる先端柔軟長の異なるGWは、各施設により様々で、どちらが適切なものかわからないのが現状です。そこで、GWの先端柔軟部の長さが、GW法の成功率や偶発症等に影響するか否かを明らかにすることを目的としています。

研究方法：研究対象者の診療録を後ろ向きに調査します。

研究実施期間：研究許可日～2027年7月1日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ番号、診療記録、検査データ 等

4. 外部への試料・情報の提供

大阪医科薬科大学 へのデータの提供は、研究で利用する情報から個人を特定できる情報を削除した状態で提供されます。

5. 研究組織・研究責任者

東京医科大学病院	消化器内科 教授	糸井 隆夫
和歌山県立医科大学	第二内科講師	糸永 昌弘
富山県立中央病院	消化器内科 部長	松田 耕一郎
愛知医科大学	肝胆膵内科 准教授	井上 匡央
兵庫医科大学	肝・胆・膵内科 准教授	塩見 英之
自治医科大学附属さいたま医療センター	消化器内科 講師	関根 匡成
大阪公立大学医学部附属病院	消化器内科 病院講師	丸山 紘嗣
岐阜大学医学部附属病院	第一内科 講師	岩下 拓司
洛和会 音羽病院	消化器内科 部長	栗田 亮
東京医科大学病院	消化器内科 准教授	向井 俊太郎
国立がんセンター中央病院	肝胆膵内科 医長	脇岡 範

湘南鎌倉総合病院	消化器病センター 主任部長	小泉 一也
東京都立墨東病院	消化器内科 医長	小林 克誠
岡山大学病院	消化器内科 助教	松本 和幸
埼玉医科大学国際医療センター	消化器内科 准教授	谷坂 優樹
関西医科大学	内科学第三講座 准教授	池浦 司
大阪国際がんセンター	肝胆膵内科 副部長	池澤 賢治
近畿大学	消化器内科 特命准教授	竹中 完
東京大学	消化器内科 特任講師	高原 楠昊
帝京大学医学部附属溝口病院	消化器内科 教授	土井 晋平
九州大学病院	肝臓・膵臓・胆道内科 助教	藤森 尚
天理よろづ相談所病院	消化器内科 医長	南 竜城
久留米大学	内科学講座消化器内科部門 助教	寺部 寛哉
京都第二赤十字病院	消化器内科 医長	萬代 晃一郎
北海道大学病院	消化器内科 講師	葉谷 将城

6. お問い合わせ先

照会先：

104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
 国立がんセンター中央病院肝胆膵内科
 肱岡 範
 03-3542-2511

研究代表者：

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号
 大阪医科薬科大学病院 消化器内視鏡センター
 小倉 健
 072-683-1221